

●がん医療部会

<p>構成委員</p>	<p>県民、がん診療連携拠点病院、がん診療連携支援病院、 がん診療医療機関 平成23年度：8名 平成24年度：10名 平成25年度：10名</p>
<p>平成25年度の 取組と成果</p>	<p>○ならのがんに関する意識調査の実施、調査結果の分析・検討や患者向け療養ガイド、ポータルサイトの掲載内容の検討、作成を行った。</p> <p>○化学療法の均てん化に向けて、がん診療連携拠点病院間での公開カンファレンスを実施した。</p> <p>○放射線治療地域連携協議会の開催により、放射線治療地域連携について、病院間で必要な情報を共有して患者紹介を行った。</p> <p>○診療情報の提供に向け、各がん診療連携拠点病院で院内がん登録データの公開の方向での検討を行った。</p> <p>○「地域がん登録（2009年2010年）」報告書をまとめた。</p>
<p>課 題</p>	<p>○チーム医療の整備、評価方法についての具体案の検討（相互視察等具体的な評価方法の検討）とその試験的な実施</p> <p>○がん治療に関する指標の検討 （がん患者・家族の満足度等の評価方法の検討）</p> <p>○手術療法、病理診断、がんリハビリテーションの必要な施策についての具体案の検討</p> <p>○口腔ケア連携体制についての具体的な検討</p> <p>○地域がん登録の精度の向上</p>
<p>平成26年度 計 画</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 中間評価に向けて、評価方法、目標値の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・「チーム医療の整備状況について」評価方法の決定と目標値の設定 ・「がん治療に関するがん患者・家族の満足度等について」評価指標、目標値の検討 2. がん診療連携拠点病院間の、化学療法に関する公開カンファレンス（Web会議）の定期開催 3. 放射線治療地域連携協議会の継続と放射線治療水準向上への取り組み 4. 手術療法の実施体制、リハビリテーション等の実態把握と必要な施策の検討と具体案の作成 5. 口腔ケア連携体制について情報把握と関係者による体制強化に向けた具体案の検討 6. 地域がん登録遡り調査の実施（2011年 罹患分） 7. 地域がん登録2011年まとめ

●地域医療部会（地域連携・在宅医療部会）

<p>構成委員</p>	<p>県民、がん診療連携拠点病院 地域連携担当、在宅医、関係機関（訪問看護師、薬剤師会、保健所）、看護師（病院、診療所） 平成23年度：14名、平成24年度：14名、平成25年度：14名</p>
<p>平成25年度の取組と成果</p>	<p>○評価指標の検討、ならのがんに関する患者意識調査の調査項目の検討、実施と療養ガイド、ポータルサイトの内容を検討 ○地域連携クリティカルパスの運用促進のため、コーディネーター研修会の検討と開催 ・がん診療連携拠点病院、がん診療連携支援病院の地域連携室担当者 17名が参加 ○共有ツールの作成、試験運用を行い、運用を開始</p>
<p>残された課題</p>	<p>○地域連携ならびに在宅療養に関する指標について ○地域連携クリティカルパスの運用促進、登録制度の検討 ○前立腺がん地域連携クリティカルパス「私のカルテ」の検討 ○共有ツールのスムーズな運用 ○地域連携について患者の満足度の把握</p>
<p>平成26年度計画</p>	<p>●地域連携・在宅医療部会に変更</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 中間評価に向けて、評価方法、目標値の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・「地域連携ならびに在宅療養に関するがん患者・家族の満足度」の評価方法の決定と目標値の設定 2. 前立腺がん「私のカルテ」について検討 3. 地域連携クリティカルパスコーディネーター研修会の継続実施 4. 共有ツールの評価 5. 在宅がん患者、家族に対する意識調査の実施 平成26年8月実施 対象世帯：249世帯 6. 在宅医療機能調査の実施、ポータルサイトのデータ更新

●緩和ケア・在宅医療部会（緩和ケア部会）

<p>構成委員</p>	<p>県民、がん診療連携拠点病院、がん診療連携支援病院、在宅医関係機関（薬剤師会、訪問看護師会）協議会、医療社会事業協会、介護支援専門員協議会）</p> <p>平成23年度：12名、平成24年度：11名、平成25年度：11名</p>
<p>平成25年度 の取組と成果</p>	<p>○ならのがんに関する患者意識調査の調査項目の検討、実施と療養ガイド、ポータルサイトの掲載内容の作成、検討</p> <p>○緩和ケアの普及啓発「がん患者さんのための患者必携」（10,000部）の継続配布</p> <p>○在宅医療資源の底上げ、増加に向けた方策の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各がん診療連携拠点病院で、在宅緩和ケア地域連携研修の実施 ・在宅緩和ケア研修のプログラムの検討と研修会の開催 10月27日 ワールドカフェ方式で、36名が参加 ・医療ソーシャルワーカー、訪問看護、訪問介護等の各関係団体における、在宅緩和ケアの実態と連携体制における今後の課題についての実態を把握
<p>課 題</p>	<p>○緩和ケアによる痛みの軽減に関する指標について （患者・家族満足度等の評価方法の検討）</p> <p>○在宅緩和ケア研修会プログラムの検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各関係団体から出された、在宅での連携体制についての課題を整理し、次回研修会に取り入れる。 ・介護関係との連携について <p>○緩和ケアに関する啓発のありかたについて</p> <p>○今後の緩和ケアピース研修会のありかたについて</p>
<p>平成26年度 計 画</p>	<p>○緩和ケア分科会と合同開催</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 中間評価に向けて、評価方法、目標値の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・「緩和ケアによる痛みの軽減について」評価指標、目標値の検討 2. 第2回在宅緩和ケア研修会（ケアカフェ中和）の実施（10月19日） 3. 緩和ケアの啓発についてタウンミーティングの開催 1月25日（日）檀原文化会館 4. 緩和ケアチーム研修会の開催 12月13日（土）14日（日） 5. 来年度緩和ケアピース研修会の検討

●相談支援・情報提供部会

<p>構成委員</p>	<p>県民、がん診療連携拠点病院、がん相談支援センター相談員 薬剤師会、市町村看護職員協議会、奈良労働局、保健所 平成23年度：8名、平成24年度：7名、平成25年度：7名</p>
<p>25年度の 取組と成果</p>	<p>○ならのがんに関する患者意識調査の調査項目の検討、実施や患者向け療養ガイド（20,000部）、ポータルサイトの掲載内容の検討、作成（H26.3月開設）を行った。</p> <p>○県内医療機関でがん相談に携わる者を対象の研修会に協力した。 21施設、24名の参加があった。【県がん診療連携拠点病院（奈良医大）主催】</p> <p>○「就労を含めた社会的問題」についての実態把握（対象：県内企業、県内入院、外来通院中のがん患者）と研修会（対象：産業保健分野の関係者）を開催した。</p> <p>○がん相談支援センター利用状況調査の実施項目の検討と実施。</p> <p>○「がん相談支援センター、患者サロン一覧」のチラシを作成し、配布した。</p> <p>○ピアサポーター養成研修会を開催、15名が受講し受講生は48名となった。（目標50名ほぼ達成）</p>
<p>残された 課題</p>	<p>○患者やその家族の満足度の評価方法と目標値の設定</p> <p>○がん相談支援センターを含めた、県内がん相談体制のあり方（普及、啓発等）</p> <p>○就労についての相談体制のあり方</p> <p>○がん相談支援センター相談員基礎研修の体制整備</p>
<p>平成26年度 計画</p>	<p>○相談支援分科会と合同開催</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 中間評価に向けて、評価方法、目標値の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・「相談支援センターにおける利用者の満足度」の評価方法、目標値の設定 2. がん相談支援従事者研修（奈良医大附属病院主催）の開催 6月14日（土）29名参加 3. がん相談支援センターの啓発、相談体制のあり方について検討 4. 就労についての取り組みについて <ul style="list-style-type: none"> ・就労についての相談支援体制の整備として、社会保険労務士対象の研修会を開催し、がん診療連携拠点病院に派遣する。 ・「がんと就労」に関する研修会（奈良医大附属病院主催） 9月23日（火・祝） ・産業医、産業保健スタッフ向けの研修会 ・県内事業所に向けた情報発信 5. がん相談支援センター相談員基礎研修の検討

●がん予防対策推進委員会（受診率向上部会）

<p>構成委員</p>	<p>県民、学識経験者、ボランティア、医師会、奈良県がん検診応援団、保険者、市町村 平成24年度：9名 平成25年度：9名 平成26年度：9名</p>
<p>平成25年度 の取組と成果</p>	<p>○「がん検診を受けよう！」奈良県民会議総会開催、がん検診普及啓発の取組に対する知事表彰、街頭普及啓発キャンペーン、がん検診普及啓発のキャッチフレーズ、啓発ツール（県民会議ロゴマーク・のぼり・ポスターリーフレット）の作成、配布。</p> <p>○がん予防推進員養成講座の開催。59名に養成講座終了証を贈呈。</p> <p>○がん検診個別受診勧奨・再勧奨モデル事業の実施。 生駒市：大腸がん検診（48歳、49歳の男女 未受診者に対する再勧奨実施。リコール通知後の受診者数1.7倍の増加） 葛城市：子宮頸がん検診（20～39歳女性 個別受診勧奨と未受診者への再勧奨実施。3.6倍受診者数の増加）</p> <p>○がん検診受診率向上に向けての市町村個別介入 モデル4市町（天理市・王寺町・川西町・五條市）及び保健所とがん検診の課題整理を行い、具体的な対策を検討する。→健康寿命を延長する取組推進モデル事業として26年度実施。</p> <p>*市町村がん検診受診率 23年度→24年度→25年度（速報値） 胃（6.1→6.4→6.5%） 肺（6.4→7.1→7.4%） 大腸（17.4→18.5→19.0%）子宮（19.9→20.0→20.0%） 乳（19.9→20.0→19.7%）</p>
<p>課 題</p>	<p>○モデル事業の成果について、県内の市町村への波及 ○受診率の高い市町村の取組分析 ○「がん検診を受けよう！」奈良県民の開催方法の検討 ○個別介入モデル市町の受診率向上対策の実施、評価</p>
<p>平成26年度 計 画</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「がん検診を受けよう！」奈良県民会議の開催 （がん検診に関する講演会の実施、街頭普及啓発キャンペーン、会員の活動発表等） 2. がん予防推進員の養成拡大（各保健所で養成講座実施） 3. 受診率向上対策 個別介入モデル市町（天理市・王寺町・川西町・五條市）の取組展開 4. 奈良県がん検診応援団会議の開催、応援団と連携した普及啓発

●がん予防対策推進委員会（精度管理部会）

<p>構成委員</p>	<p>専門医、医師会、検診機関、市町村、保健所</p> <p>平成24年度：10名 平成25年度：10名 平成26年度：11名</p>
<p>平成25年度の取組と成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○市町村がん検診精度管理調査の実施及び評価 受診者台帳の整備や精検結果の把握について改善している。 ○精密医療機関の現状調査の実施 登録継続希望意思と登録基準項目を満たしているかどうか ○胃がん検診従事者研修会実施 医師、放射線技師対象：胃がん症例検討、フィルム読影実習（医師40名、放射線技師16名参加） 市町村担当職員対象：ピロリ菌の基礎知識（26名参加） ○肺がん検診従事者研修会実施 肺がん読影研修（医師45名、放射線技師5名、市町村5名参加） ○子宮がん検診実施要領の改訂（H26.4.1～） 国の指針の改正に伴い 奈良県子宮がん検診実施要領を改正する→子宮頸がん検診実施要領 子宮頸部細胞診の結果の分類についてベセスダシステムを用いる。
<p>課 題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○精度管理調査結果に基づく市町村や検診機関への指導 ○個別検診機関に対する精度管理調査の実施（国立がん研究センター研究班がチェックリスト作成中） ○精密医療機関登録基準の見直し ○がん検診従事者研修会の充実
<p>平成26年度計画</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 市町村がん検診精度管理調査の実施 2. がん検診従事者研修会の実施（胃がん、肺がん、大腸がん、精度管理） 3. 市町村がん検診実施要領の改正（内容を確認して必要のあるものについて改正）

●たばこ対策推進委員会

<p>構成委員</p>	<p>県民、学識経験者（奈良女子大学）、医師会、薬剤師会、 歯科医師会</p> <p>平成24年度：5名、平成25年度：5名、平成26年度：5名</p>
<p>平成25年度 の取組と成果</p>	<p>○未成年者禁煙支援相談事業 相談実績：9名（高校生2名、中学生7名）</p> <p>○妊産婦禁煙支援ガイドブックの作成・配布 県内産婦人科医療機関、市町村、保健所、奈良県助産師会に配布 （300部）</p> <p>○市町村庁舎禁煙状況調査（平成24年度⇒平成25年度） 敷地内禁煙：0 市町村⇒0 市町村 建物内禁煙：31 市町村⇒34 市町村 分煙：8 市町村⇒5 市町村</p> <p>○市町村たばこ対策研修会 参加人数：17名（11市町村、4保健所）</p>
<p>課 題</p>	<p>○未成年者禁煙支援相談事業の事例検討及び事業内容の改善</p> <p>○妊産婦禁煙支援ガイドブックの活用促進</p> <p>○若い女性に対する喫煙防止、禁煙対策</p> <p>○市町村庁舎の建物内禁煙化の推進（当面の目標：全市町村庁舎建物内禁煙）</p>
<p>平成26年度 計 画</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成25年度事業の継続（市町村たばこ対策研修会、未成年者禁煙支援相談事業、市町村庁舎の禁煙状況調査・公表等） 2. 妊産婦禁煙支援ガイドブックに基づいた研修会の実施 （平成26年5月1日実施済み） 3. 未成年者禁煙支援相談事業の事例検討、報告会の実施 4. 職域でのたばこ対策研修会の実施 （平成26年8月8日協会けんぽと共同で実施済み） 5. COPD対策モデル事業 （上牧町・王寺町・広陵町をモデル市町村として実施）

●がんの教育部会（がんの教育推進会議）

<p>構成委員</p>	<p>平成24・25年度は、庁内各関係担当課のみで構成 平成26年度は、下記の委員で構成 奈良県教育委員会学校保健技師(医師)、奈良県健康教育研究会会長 奈良県町村教育委員会代表、奈良県中学校校長代表、 各関係担当課課長</p>
<p>平成25年度 の取組と成果</p>	<p>○がんの教育のねらいとして「がんの予防、がんの早期発見を中心とした教育」と決定し、教材の内容の検討を行った。 ○どういった授業内容で取り組むか検討した。 ○健康教育の現状についてまとめた。 ○県立高等学校において、ドクタービジット事業として、がん専門医による授業を実施し、がん検診の大切さや効果的な予防法について啓発した。 ○がんの教育学習内容等の中間取りまとめとして、『子どもたちへの「がん」教育の進め方について』をまとめた。 ○平成26年度事業として、文部科学省の「がんの教育総合支援事業」を活用することとした。</p>
<p>課 題</p>	<p>●がんの教育について、評価方法と目標値の設定 ○中学校を対象とした教材及び指導案等、指導内容の適正について ○「がんの教育」実施校の拡大 ○教職員への「がんの教育」普及啓発</p>
<p>平成26年度 計 画</p>	<p>●中間評価に向けて、評価方法、目標値の検討 【がんの教育総合支援事業の実施】 ○教材作成ワーキング ・がんの教育に関する教材（リーフレット）の作成 ・がんの教育の進め方（指導案・指導書）の作成 ・教職員に対する講演会の開催 12月9日（火）健康教育研究会にて 日本女子体育大学 助友 裕子 准教授 ・がんの教育授業の検証 ○推進会議 ・がんの教育推進に向けた計画と評価方法の検討 ・がんの教育の関する計画の検証 ○モデル校による授業の実施 ・広陵町立真美ヶ丘中学校 ・河合町立河合第二中学校</p>